

■ 地元産業界等との連携事業

本学では、滋賀県漁業協同組合連合会と連携し、「びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携促進事業」を実施しています。

滋賀県内の学校給食におけるコアユ以外の湖魚使用は少なく、学校給食関係者の湖魚食材に関する知識、情報も十分でないために積極的かつ継続的な活用に至っておらず、使用の少ない湖魚を中心に新たな学校給食メニューを提案するとともに、湖魚食材の勉強会を通して知識や情報を提供し、湖魚の積極的かつ継続的な活用を促進することを目指しています。

12月22日（金）、本学において、滋賀県農政水産部主催、滋賀県漁業協同組合連合会、本学の連携事業として、滋賀県で活躍される栄養教諭や栄養士、調理師など学校給食に携わる方を対象とし、水産課や漁連の方の講話や生活学科食健康コースの2回生が大量調理を想定して考案した湖魚メニューの試食会を開催しました。

<https://www.sumire.ac.jp/tandai/news/16655/>

■ 地元産業界との連携した授業科目

本学ビジネスコミュにケーション学科では、滋賀県や大津市と連携し、「地域づくり論」の授業において、自分が「住むまち」や「関係のあるまち」に関心を持ってもらうために、滋賀県や大津市の諸政策について学び、元気なまちを作るために自分たちに何ができるかを議論しました。

令和5年度は、大津市政策調整部企画調整課、滋賀県農政水産部、健康医療福祉部の協力を得て、「大津市総合計画」、「近江牛」、「世界農業遺産、琵琶湖システム」、「健康しが」の取組みについて学びました。

地域ビジネス論、アントレプレナー論では、地域で活躍されている起業家を招いて講演していただきました。令和5年度は、近畿経済産業局の制度「大学等講義×優良中小企業のゲストスピーカー WEB マッチングプラットフォーム」を利用して4組の企業様にご講演いただきました。